



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月14日

上場会社名 株式会社サンセイラディック 上場取引所 東
 コード番号 3277 URL <https://www.sansei-l.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松崎 隆司
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理管掌 (氏名) 永田 武司 (TEL) 03-5252-7511
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	5,365	11.6	528	252.3	502	386.6	323	380.3
2020年12月期第1四半期	4,807	149.7	150	—	103	—	67	—

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 323百万円(380.3%) 2020年12月期第1四半期 67百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	38.47	38.36
2020年12月期第1四半期	7.96	7.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	18,505	10,069	54.4
2020年12月期	20,070	10,066	50.1

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 10,065百万円 2020年12月期 10,062百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,375	0.2	286	△27.6	214	△26.5	137	△24.6	16.29
通期	18,385	3.4	919	8.5	762	7.5	505	41.3	59.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期 1 Q	8,468,300株	2020年12月期	8,468,300株
② 期末自己株式数	2021年12月期 1 Q	163,642株	2020年12月期	29,942株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期 1 Q	8,403,364株	2020年12月期 1 Q	8,460,056株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高5,365百万円（前年同期比11.6%増）となり、営業利益528百万円（前年同期比252.3%増）、経常利益502百万円（前年同期比386.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益323百万円（前年同期比380.3%増）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

① 不動産販売事業

不動産販売事業の売上高は5,171百万円（前年同期比19.2%増）となり、セグメント利益は842百万円（前年同期比85.5%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間における販売実績及び仕入実績は次のとおりであります。

i 販売実績

区分	件数	前年同期比(%)	売上高(百万円)	前年同期比(%)
底地	88	+60.0	3,464	+381.4
居抜き	17	△22.7	1,419	△34.9
所有権	2	±0.0	191	△85.3
その他の不動産販売事業	—	—	96	△28.3
合計	107	+35.4	5,171	+19.2

(注) 1. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

2. セグメント間取引については相殺消去しております。

3. 「件数」については、売買契約の件数を記載しております。

4. 底地・居抜き・所有権の「区分」については、仕入時の区分により記載しております。仕入後に権利調整により底地から所有権に変わった区画等に関しては、仕入時の区分に基づき底地に含めて記載しております。また、底地・居抜き・所有権が混在する物件については、底地を含む物件は「底地」に、居抜きと所有権のみが混在する物件は「居抜き」に含めて記載しております。

5. 「その他の不動産販売事業」は、地代家賃収入、仲介手数料による収入、業務受託手数料収入等であります。

販売におきましては、居抜き及び所有権の販売は減少いたしました。底地の販売が大幅に増加したことにより、売上高は前年同期比で増加いたしました。

ii 仕入実績

区分	区画数	前年同期比(%)	仕入高(百万円)	前年同期比(%)
底地	101	+5.2	1,139	△37.5
居抜き	22	+69.2	1,404	+0.2
所有権	1	△83.3	36	△97.4
合計	124	+7.8	2,581	△44.1

(注) 1. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

2. 「区画数」については、底地の場合は借地権者の人数など、物件の仕入時に想定される販売区画の数量を記載しております。

3. 底地・居抜き・所有権が混在する物件の「区分」については、底地を含む物件は「底地」に、居抜きと所有権のみが混在する物件は「居抜き」に含めて記載しております。

仕入におきましては、居抜きの仕入は増加いたしました。底地及び所有権の仕入が減少したことにより、仕入高は前年同期比で減少いたしました。

② 建築事業

建築事業の売上高は194百万円（前年同期比58.4%減）となり、セグメント損失は38百万円（前年同期は300百万円のセグメント損失）となりました。

当第1四半期連結累計期間における販売実績及び受注実績は次のとおりであります。

i 販売実績

件数	前年同期比(%)	売上高(百万円)	前年同期比(%)
40	△28.6	194	△58.4

- (注) 1. 上記金額には消費税等は含まれておりません。
 2. セグメント間取引については相殺消去しております。
 3. 「件数」については、受注契約の件数を記載しております。
 4. 「件数」・「売上高」につきましては、リフォーム工事・改築工事等の件数・金額を含んでおりません。

販売におきましては、期首の繰越工事の減少により、売上高は前年同期比で減少いたしました。

ii 受注実績

受注高(百万円)	前年同期比(%)	受注残高(百万円)	前年同期比(%)
383	+33.1	645	△23.6

- (注) 1. 上記金額には消費税等は含まれておりません。
 2. セグメント間取引については相殺消去しております。
 3. 上記の金額は、販売価額により表示しております。

受注におきましては、受注高は増加いたしました。期首の繰越工事の減少により、受注残高は前年同期比で減少いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比べ1,486百万円減少し、17,554百万円となりました。これは、主に現金及び預金の減少464百万円、販売用不動産の減少1,263百万円、その他流動資産207百万円増加によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末と比べ79百万円減少し、951百万円となりました。これは、主に有形固定資産の減少15百万円、投資その他の資産の減少60百万円によるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比べ255百万円減少し、5,516百万円となりました。これは、主に賞与引当金の増加58百万円、その他流動負債の減少304百万円によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末と比べ1,313百万円減少し、2,918百万円となりました。これは、主に長期借入金の減少1,308百万円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ3百万円増加し、10,069百万円となりました。これは、利益剰余金の増加112百万円、自己株式の増加108百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月14日に発表した業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,329,998	3,865,863
売掛金	102,428	135,478
販売用不動産	14,424,958	13,161,782
未成工事支出金	4,214	7,176
貯蔵品	2,780	2,814
その他	182,702	389,836
貸倒引当金	△6,798	△8,871
流動資産合計	19,040,284	17,554,080
固定資産		
有形固定資産		
賃貸不動産	303,851	289,841
減価償却累計額	△60,878	△61,039
賃貸不動産(純額)	242,972	228,802
その他	63,312	62,063
有形固定資産合計	306,285	290,865
無形固定資産	68,786	65,766
投資その他の資産		
その他	696,530	635,872
貸倒引当金	△41,121	△41,121
投資その他の資産合計	655,408	594,750
固定資産合計	1,030,480	951,382
資産合計	20,070,765	18,505,463
負債の部		
流動負債		
買掛金	355,898	301,601
短期借入金	4,262,650	4,271,830
未払法人税等	55,720	90,461
賞与引当金	—	58,902
その他	1,097,852	793,843
流動負債合計	5,772,121	5,516,638
固定負債		
長期借入金	3,878,950	2,570,000
その他	353,170	348,950
固定負債合計	4,232,120	2,918,950
負債合計	10,004,241	8,435,589
純資産の部		
株主資本		
資本金	818,435	818,435
資本剰余金	779,435	779,435
利益剰余金	8,464,641	8,576,981
自己株式	△152	△109,142
株主資本合計	10,062,359	10,065,710
新株予約権	4,164	4,164
純資産合計	10,066,523	10,069,874
負債純資産合計	20,070,765	18,505,463

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
売上高	4,807,901	5,365,912
売上原価	3,865,723	4,020,944
売上総利益	942,178	1,344,967
販売費及び一般管理費	792,156	816,440
営業利益	150,022	528,527
営業外収益		
受取利息	53	27
業務受託料	3,204	3,673
助成金収入	—	4,140
貸倒引当金戻入額	4,135	—
その他	1,876	4,235
営業外収益合計	9,270	12,076
営業外費用		
支払利息	32,616	29,686
支払手数料	9,221	5,816
その他	14,109	2,177
営業外費用合計	55,947	37,680
経常利益	103,345	502,922
特別利益		
固定資産売却益	—	3,807
特別利益合計	—	3,807
税金等調整前四半期純利益	103,345	506,730
法人税等	36,027	183,431
四半期純利益	67,317	323,299
親会社株主に帰属する四半期純利益	67,317	323,299

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
四半期純利益	67,317	323,299
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	67,317	323,299
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	67,317	323,299
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

当社は、2021年2月12日開催の取締役会決議に基づき、当第1四半期連結会計期間末までに自己株式133,700株の取得を行っております。この結果、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が108,989千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が109,142千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

① 簡便な会計処理

・繰延税金資産の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックスプランニングを利用する方法によっております。

・棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

・税金費用の計算方法

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	不動産販売 事業	建築事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,339,720	468,181	4,807,901	—	4,807,901
セグメント間の内部 売上高又は振替高	436	11,849	12,285	△12,285	—
計	4,340,156	480,030	4,820,187	△12,285	4,807,901
セグメント利益又は損失(△)	454,309	△3,995	450,313	△300,291	150,022

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、セグメント間の内部取引消去であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△300,291千円は主に各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	不動産販売 事業	建築事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,171,186	194,725	5,365,912	—	5,365,912
セグメント間の内部 売上高又は振替高	888	10,829	11,717	△11,717	—
計	5,172,075	205,555	5,377,630	△11,717	5,365,912
セグメント利益又は損失(△)	842,838	△38,261	804,577	△276,050	528,527

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、セグメント間の内部取引消去であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△276,050千円は主に各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。